

宮古盛岡横断道路 区界道路 (仮称) 新区界トンネル 貫通式

概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長約6.6kmの地域高規格道路であり、そのうち「区界道路」は、宮古市区界第1地割～盛岡市築川第6地割間の約8kmにおいて整備する区間です。

この区間は、平成23年度に事業化となりました。

現在の国道106号は急カーブ・急勾配が集中する区間があり、また宮古市・盛岡市境の区界峠付近は降雪量も多く、交通の障害となっています。

整備により通行の難所を回避する形となり、物流の効率化による地域産業の活性化、救急搬送や医療活動の迅速性・安全性の確保、周遊観光圏域の拡大等の効果が期待されます。

このたび、岩手県内で最長となる「(仮称)新区界トンネル」(延長4,998m)の「貫通式」が執り行われました。

完成後は、現在の急カーブ・急勾配が集中する区界峠を回避する形となり、現在の国道106号より距離が4.7km、通行時間が9分短縮されます。

宮古盛岡横断道路 区界道路 (仮称) 新区界トンネル 貫通式 開催状況

開催日時：平成30年 1月11日(木) 9:30～11:30

開催場所：(仮称)新区界トンネル本坑内 宮古市・盛岡市境界地点



▲ 宮古市側から発破ボタンを押す山本宮古市長（中央）



▲ 貫通を祝う「くす玉開披」の様様



▲ 谷藤盛岡市長・山本宮古市長による「通り初め」



▲ 田代念佛剣舞保存会の方々による剣舞